

九州産業大学附属九州産業高等学校

テーマ 里山の昆虫相調査

調査の実施方法

- 期 間 2016年3月～9月
- 場 所 九州産業高校内(筑紫野市)・天拝山(筑紫野市)・トラストの森(大野城市)
- 手 順 調査地点を定め、定期的にその地点に現れる生物の観察と記録を行いました。

見つけた生きもの・コメント



イチモンジチョウ (九州産業高校内)

イチモンジチョウは、山間部に多く生息するが、本校のような市街地で見られるのは極めて稀です。



ウラナミジャノメ (天拝山)

各地で急激に生息数が減っている種です。県の2014年版RDBでは絶滅危惧種Ⅱ類に指定されています。引き続き本年度も確認できました。



コハンミョウ (トラストの森)

地面の表面で活動する地表性昆虫のなかまです。コハンミョウは比較的珍しい種です。森の中で日が差し込み明るくなった環境で、地面が露出する場所でしか見ることができません。

<その他に見つけた生きもの>

ヒメアトスカシバ(校内)、カバフドロバチ(校内)、クロセセリ(天拝山)、ビロードハマキ(天拝山)、ツマキチョウ(トラストの森)、クロマダラソテツジミ(トラストの森)

気が付いたこと、わかったこと、みんなに伝えたいことなど

【九州産業高校内:筑紫野市(2015年～)】

学校横の池の存在による、湿地環境の生物が多く発見されました。ここでは、市街地にも関わらず稀少な蝶やそれ以外の昆虫も見いだせました。

【天拝山:筑紫野市(2003年～)】

今年は、天拝公園内の駐車場開発等の影響からか、去年の蝶の総個体数の1/3程度に減少していました。近年減少傾向でしたが、さらに拍車がかかっていることが分かりました。

【トラストの森:大野城市(2015年～)】

去年に引き続き、調査を行った結果、去年より多くの蝶や昆虫の個体を観察できました。里山環境が保全されているこの地域を将来にわたって残したいものです。